

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3619		
科目名	技術トレーニング論演習		
担当教員	澤野 大地		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 2		
講義室	1203	単位区分	選,選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>DP3-G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4-F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連</p> <p>E1学識と専門技能-40%</p> <p>F1探究と論拠-25%</p> <p>G1状況把握-20%</p> <p>H1論理的思考-5%</p> <p>I2量的分析-5%</p> <p>I3情報分析-5%</p>		
教員の実務経験	オリンピック3大会 (2004年、2008年、2016年)、世界陸上7大会 (2003年、2005年、2007年、2009年、2011年、2013年、2019年) に出場しました。その競技者としての経験を活かして、講義を行います。また日本オリンピック委員会アスリート委員長として活動をしている中で、あらゆる競技の選手と関わってきた経験を活かして、講義を行います。(第4回、第7回)		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>本演習では、技術トレーニング論で学習した内容を踏まえて、これに関する国内外の研究論文を精読することによって、技術トレーニングの実施方法について理解し、各自が行っている技術トレーニングの分析を行います。特に、技術トレーニングと体カトレーニングの相補関係について学習し、各自の専門種目において、より実践的な技術トレーニング方法論を構築できるようにします。授業形態は、調査・研究及びプレゼンテーションを中心とした演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>■キーワード スポーツ技術・技術トレーニング・技術構造分析</p>		

授業の趣旨	<p>■副題 各自が行なっている技術トレーニング手段を明確にし、より実践的な技術トレーニング方法論を構築します。</p> <p>■授業の目的 現在各自が行っている技術トレーニングの手段を明確にし、技術・体力の関係から、各自の専門種目においてより実践的で効果的な技術トレーニングを構築することを目的とします。</p> <p>■授業のポイント 各自が行なっている技術トレーニングが持つ特性と体力・戦術との関係性を分析することにより、実践的な技術トレーニング手段を選択していくことができるようになります。また、競技特性の違う種目における技術トレーニングを調査・研究することで、自身の競技種目においてより実践的な技術トレーニングを構築できるようになります。</p>												
総合到達目標	<p>■自身の競技種目においてより実践的な技術トレーニングを構築できるようになるために、各自が行っている技術トレーニング手段を明確にし、技術・体力・戦術の関係から効果的な技術トレーニング手段を選択していくことができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術トレーニングの基礎的知識について説明できる。(第2回、第15回) ・技術・体力・戦術の関係性について分析し説明することができる。(第3回～第14回) ・自身の行っている技術トレーニングを、競技特性の違う競技に応用することができる。(第7回～第10回) 												
成績評価方法	<p>■プレゼンテーション (60%) 適用ルーブリック E1 G1 (評価の観点) プレゼンテーション (3回) において、それぞれのテーマに沿ったプレゼン資料が作成できているかどうかを評価します。 (フィードバック方法) 各発表後、講評を行います。</p> <p>■授業参加度 (40%) 適用ルーブリック F1 H1 I2 I3 (評価の観点) 提出物、グループワークでの発言などを総合的に見て評価します。</p>												
履修条件	技術トレーニング論を履修していること。また体力トレーニング論を履修していることが望ましいです。												
履修上の注意点	特にありません。												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1021 517 1070">回</th> <th data-bbox="517 1021 1497 1070">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1070 517 1283">1</td> <td data-bbox="517 1070 1497 1283"> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行う。また授業の概要やその方法について説明する。 ③予習 (120分) シラバスの内容をよく読んでおく ④復習 (120分) ガイダンスの内容をもう一度確認し、シラバスを読んで授業の流れを確認しておく。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1283 517 1485">2</td> <td data-bbox="517 1283 1497 1485"> ①授業テーマ 技術トレーニングについて振り返り ②授業概要 技術トレーニング論で学んだことを振り返り、技術トレーニングの基礎的知識についてもう一度説明できるようにする。(E1、F1) ③予習 (120分) 技術トレーニング論で学んだことをまとめておく。 ④復習 (120分) 技術トレーニング論の内容を振り返り、自身の技術トレーニングについてまとめる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1485 517 1697">3</td> <td data-bbox="517 1485 1497 1697"> ①授業テーマ 技術・体力・戦術との関連 ②授業概要 技術・体力・戦術の階層構造関係について学び、それについて説明できるようにする。(E1、F1、G1) ③予習 (120分) 技術・体力・戦術の関係について検討しておく。 ④復習 (120分) 自身の専門とする競技でのパフォーマンス構造モデルを検討しておく。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1697 517 1933">4</td> <td data-bbox="517 1697 1497 1933"> ①授業テーマ 技術トレーニング手段の分類① ②授業概要 自身の行っている技術トレーニング手段について目的別に分類することができるようにする。(E1、F1、G1、H1、I2、I3) 担当教員の実務経験を踏まえて、目的別に技術トレーニング手段を分類した例示をあげながら、講義を行います。 ③予習 (120分) 自身の行っている技術トレーニング手段をまとめておく。 ④復習 (120分) 分類した技術トレーニング手段をまとめておく。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1933 517 2150">5</td> <td data-bbox="517 1933 1497 2150"> ①授業テーマ 技術トレーニング手段の分類② ②授業概要 研究論文や文献、資料を収集して技術トレーニング手段について検討し(F1、G1)、自身の行っている技術トレーニング手段を分析できるようにする。(E1、F1、G1、H1、I2、I3) ③予習 (120分) 自身の行っている技術トレーニング手段について検討しておく。 ④復習 (120分) 収集した文献や資料を精読しておく。 </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行う。また授業の概要やその方法について説明する。 ③予習 (120分) シラバスの内容をよく読んでおく ④復習 (120分) ガイダンスの内容をもう一度確認し、シラバスを読んで授業の流れを確認しておく。	2	①授業テーマ 技術トレーニングについて振り返り ②授業概要 技術トレーニング論で学んだことを振り返り、技術トレーニングの基礎的知識についてもう一度説明できるようにする。(E1、F1) ③予習 (120分) 技術トレーニング論で学んだことをまとめておく。 ④復習 (120分) 技術トレーニング論の内容を振り返り、自身の技術トレーニングについてまとめる。	3	①授業テーマ 技術・体力・戦術との関連 ②授業概要 技術・体力・戦術の階層構造関係について学び、それについて説明できるようにする。(E1、F1、G1) ③予習 (120分) 技術・体力・戦術の関係について検討しておく。 ④復習 (120分) 自身の専門とする競技でのパフォーマンス構造モデルを検討しておく。	4	①授業テーマ 技術トレーニング手段の分類① ②授業概要 自身の行っている技術トレーニング手段について目的別に分類することができるようにする。(E1、F1、G1、H1、I2、I3) 担当教員の実務経験を踏まえて、目的別に技術トレーニング手段を分類した例示をあげながら、講義を行います。 ③予習 (120分) 自身の行っている技術トレーニング手段をまとめておく。 ④復習 (120分) 分類した技術トレーニング手段をまとめておく。	5	①授業テーマ 技術トレーニング手段の分類② ②授業概要 研究論文や文献、資料を収集して技術トレーニング手段について検討し(F1、G1)、自身の行っている技術トレーニング手段を分析できるようにする。(E1、F1、G1、H1、I2、I3) ③予習 (120分) 自身の行っている技術トレーニング手段について検討しておく。 ④復習 (120分) 収集した文献や資料を精読しておく。
回	内容												
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行う。また授業の概要やその方法について説明する。 ③予習 (120分) シラバスの内容をよく読んでおく ④復習 (120分) ガイダンスの内容をもう一度確認し、シラバスを読んで授業の流れを確認しておく。												
2	①授業テーマ 技術トレーニングについて振り返り ②授業概要 技術トレーニング論で学んだことを振り返り、技術トレーニングの基礎的知識についてもう一度説明できるようにする。(E1、F1) ③予習 (120分) 技術トレーニング論で学んだことをまとめておく。 ④復習 (120分) 技術トレーニング論の内容を振り返り、自身の技術トレーニングについてまとめる。												
3	①授業テーマ 技術・体力・戦術との関連 ②授業概要 技術・体力・戦術の階層構造関係について学び、それについて説明できるようにする。(E1、F1、G1) ③予習 (120分) 技術・体力・戦術の関係について検討しておく。 ④復習 (120分) 自身の専門とする競技でのパフォーマンス構造モデルを検討しておく。												
4	①授業テーマ 技術トレーニング手段の分類① ②授業概要 自身の行っている技術トレーニング手段について目的別に分類することができるようにする。(E1、F1、G1、H1、I2、I3) 担当教員の実務経験を踏まえて、目的別に技術トレーニング手段を分類した例示をあげながら、講義を行います。 ③予習 (120分) 自身の行っている技術トレーニング手段をまとめておく。 ④復習 (120分) 分類した技術トレーニング手段をまとめておく。												
5	①授業テーマ 技術トレーニング手段の分類② ②授業概要 研究論文や文献、資料を収集して技術トレーニング手段について検討し(F1、G1)、自身の行っている技術トレーニング手段を分析できるようにする。(E1、F1、G1、H1、I2、I3) ③予習 (120分) 自身の行っている技術トレーニング手段について検討しておく。 ④復習 (120分) 収集した文献や資料を精読しておく。												

6	<p>①授業テーマ 技術トレーニング手段の分類③</p> <p>②授業概要 自身の行っている専門種目の技術トレーニング手段を分類して、種目ごとの技術トレーニングの特徴について資料を作成し、プレゼンテーションを行う。(E1、F1、G1、H1、I2、I3) 発表後、講評を行います。</p> <p>③予習(120分) 収集した文献や資料から、自身の技術トレーニング手段について検討しておく。</p> <p>④復習(120分) 自身の技術トレーニング手段と、プレゼンテーションで発表された他競技の技術トレーニング手段の違いについて検討しておく。</p>
7	<p>①授業テーマ 競技種目による技術トレーニングの違い①</p> <p>②授業概要 競技特性による技術トレーニングの違いについて説明できるようにする。(E1、F1、G1) 担当教員の実務経験を踏まえて、トップアスリートの技術トレーニング手段について例を挙げて講義を行います。</p> <p>③予習(120分) 自身の技術トレーニング手段についてまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 競技特性による技術トレーニング手段の違いについて確認しておく。</p>
8	<p>①授業テーマ 競技種目による技術トレーニングの違い②</p> <p>②授業概要 競技特性の違う種目の技術トレーニング手段について、同様の競技種目のグループで資料を収集して検討し、プレゼンテーションの準備を行う。(E1、F1、G1、H1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 他競技の技術トレーニング手段について検討しておく。</p> <p>④復習(120分) 他競技の技術トレーニング手段について、さらなる文献や資料を収集しておく。</p>
9	<p>①授業テーマ 競技種目による技術トレーニングの違い③</p> <p>②授業概要 競技特性の違う種目の技術トレーニング手段について、同様の競技種目のグループで資料を収集して検討し、プレゼンテーションの準備を行う。(E1、F1、G1、H1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 収集した文献や資料を精読し、他競技の技術トレーニング手段について検討しておく。</p> <p>④復習(120分) 作成した競技特性の違う種目の技術トレーニング手段についての資料をまとめておく。</p>
10	<p>①授業テーマ 競技種目による技術トレーニングの違い④</p> <p>②授業概要 競技特性の違う種目の技術トレーニング手段について、グループごとにプレゼンテーションを行う。(E1、F1、G1、H1、I2、I3) 発表後、講評を行います。</p> <p>③予習(120分) 収集した文献や資料の内容を整理し、プレゼンテーション方法について検討しておく。</p> <p>④復習(120分) 競技特性の違う種目の技術トレーニングについてまとめておく。</p>
11	<p>①授業テーマ 実践的な技術トレーニングの構築①</p> <p>②授業概要 各自の専門種目においてより実践的な技術トレーニング方法について、文献や資料を収集して検討し、プレゼンテーションの準備を行う。(E1、F1、G1、H1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 自身の専門種目における技術トレーニングについて検討しておく。</p> <p>④復習(120分) 関連する文献や資料をさらに収集しておく。</p>
12	<p>①授業テーマ 実践的な技術トレーニングの構築②</p> <p>②授業概要 各自の専門種目においてより実践的な技術トレーニング方法について、文献や資料を収集して検討し、プレゼンテーションの準備を行う。(E1、F1、G1、H1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 収集した文献や資料を精読しておく。</p> <p>④復習(120分) 収集した文献や資料を整理しておく。</p>
13	<p>①授業テーマ 実践的な技術トレーニングの構築③</p> <p>②授業概要 各自の専門種目においてより実践的な技術トレーニング方法について、文献や資料を収集して検討し、プレゼンテーションの準備を行う。(E1、F1、G1、H1、I2、I3)</p> <p>③予習(120分) 収集した文献や資料の内容を整理し、プレゼンテーション方法について検討しておく。</p> <p>④復習(120分) 作成した資料をまとめておく。</p>
14	<p>①授業テーマ 実践的な技術トレーニングの構築④</p> <p>②授業概要 自身で収集した文献や資料を整理し、実践的な技術トレーニングについてのプレゼンテーションを行う。(E1、F1、G1、H1、I2、I3) 発表後、講評を行います。</p> <p>③予習(120分) 自身のプレゼンテーションについてリハーサルを行い、あらかじめ</p>

	<p>想定される質問について検討しておく。 ④復習（120分） 自身の作成した資料を整理しておく。</p>
15	<p>①授業テーマ および技術トレーニング論演習まとめ ②授業概要 これまでの技術トレーニング論演習の内容について総括し、まとめを行う。 ③予習（120分） これまでの内容をまとめておく。 ④復習（120分） 各自の専門種目におけるより実践的な技術トレーニングの方法を構築できるようにする。</p>
関連科目	技術トレーニング論（SSCS2328）、体カトレーニング論（SSCS2329）
教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	<p>「スポーツ技術のトレーニング」グロッサー／ノイマイヤー、大修館書店、1995、ISBN978-4469263244 「スポーツ技術の指導」R.W.クリスチナ／D.M.ココス、大修館書店、1991、ISBN978-4469161670</p>
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 月曜3限 それ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとれば研究室で対応します。</p>
研究比率	

